

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	京丹後市網野地域家庭教育支援チーム (呼称:ほのぼの倶楽部あみの)
②活動拠点	京丹後市網野地域公民館
③活動範囲	網野中学校区(網野学園)
④組織体制	__11__人 子育てサポーター5人、元教員2人、支援団体・NPO 法人 4人
⑤活動開始年度	平成 21 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 京丹後市教育委員会事務局 生涯学習課 網野地域公民館 (TEL)0772-69-0663 (E-mail)amino-komin@city.kyotango.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(保護者が集まる機会にあわせ子育て交流会を開催)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校等での子育ておしゃべり交流会(入学説明会時) ● 子育て広場「ほのぼのルーム」(地区の子育てサロン、子育て支援センターと情報交流をとりながら開催) ● 地区の子育てサロン、子育て支援センターでの「高校生と赤ちゃんのふ

	<p>れあい交流事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校での「手紙で結ぶ家族の絆事業」 ● 家庭教育支援チームだよりの発行 ● 家庭教育支援チーム定例会
<p>④活動の成果 (活動実績がある 場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動を始めた当初から、いわゆる「訪問型」という形はとらずに保護者同士の絆をつないでいこうということで、学校や保育所に保護者が集まる機会に出向き子育て交流会を開催し始めた。しかし、保育所や小学校で初めて人間関係を作るよりも、もっと早い乳幼児親子の段階から繋がる必要があると感じ、地域公民館を拠点として、乳幼児親子を対象に子育て広場(ほのぼの ROOM)を開催。並行して保育所、小学校の保護者へのアプローチも継続的に行うことで、徐々に多くの保護者に人と人、人と地域が繋がっている安心感が生まれてきている。 ● 子育てサポーターは家庭教育支援チームで活動しながら、それぞれの地域で子育てサロンを開催していくことで、乳幼児親子が安心して集まれる場所を提供できている。また、子育てサポーターが見守ることで、地域と繋がりながら親子が育ってきている。 ● ほのぼの ROOM の内容に専門の先生による発達に関する勉強会をおりませたり、地域の保健師に話をしてもらう会を設けたり、生の音楽を乳幼児期の親子に触れてもらう機会など、多様な学習の場が提供できている。 ● 若い世代へのアプローチとして、高校生に焦点を当てた事業を展開している。子育て支援センターに場を提供してもらい、高校生が赤ちゃんとふれあい保護者の方と交流するもので、保護者にも高校にも定着してきている。 ● 手紙で結ぶ家族の時間が、改めて子どもに向き合ってもらえる機会となった感想がアンケート結果から多く寄せられた。 ● 定例会を設定することで事業の充実を図るとともに、地域の中の子育てサポーターとして身近に求められていることを共有し合い、タイムリーに対応できる力量を付けていく。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤形成事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()